

番 号	県 3	区 分	県指定文化財
種 別	名 勝	所有者	国（管理責任者中部森林監理局 木曾森林管理署南木曾支署）
名 称	田立の滝		
指定年月日	昭和49年1月17日		
所 在 地	南木曾町田立（田立国有林）		

概 要

田立の滝付近には、節理がよく発達している苗木型と呼ばれる白亜紀花崗岩が分布しており、滝はこの節理によってできたものである。

田立の滝は標高1,580mの天然公園を源として発して、上流から丸淵、箱淵、鶴翼滝、不動滝、天河滝、霧が滝、洗心滝、螺旋滝、潤滝から成っており、連続する滝群を「田立の滝」と呼んでいる。その瀑布のしぶきの美しさと雄大さから日本百景の一つ（昭和2年大阪毎日新聞・東京日々新聞選定）に数えられている。

周辺には、木曾五木が見られるほか、ベニマンサク、ミヤマトサミズキ、ミヤマモミジイチゴ、ハスノハイチゴ、カナクギノキ、バイカツツジ、アカヤシオなどの植物が見られる。

滝への遊歩道を登る時には、切り開いた先駆者宮川勝次郎翁（1855年～1922年）の労苦を偲ばずにはいられない。

